

電響社(坂田周平社長)は11月28、29日、大阪市のOMMでグループ3社共催による新製品商談会を開催した。家電量販店やホームセンター、スーパーなど153社、409人が来場。家電製品や日用品など旬な商材を用意した。

電響社 商談会

今回の商談会のテーマは「いいもの こだわり 新発見」。合計93社が出展し、家電品や生活雑貨など旬な商材を出品。会場入り口付近にはドライブレコーダのほか、タミーカメラなどの防犯関連製品、40本が入るワインセラー

大阪開催 自社ブランドなどPR



409人が来場した電響社の商談会

などを展示。また、新規出展では、LEDスタンドライトやサーキュレータ、新色のオーブントースター、電子レンジなどを展示。子会社のアピックスブランドでは、ホールワッフルメーカーなどの調理家電をPRした。家電メーカーのシー・シー・ピーは回転モップや小型の「シミ抜き機」を実演した。

そして、トースターメーカーや理美容商品、つかみもみマッサージ器からグループオリジナルの収納袋、収納用品、日用雑貨など幅広い商品を披露。グループの大和無線電器では、手元スピーカやオムールゴルなど変わり種の商品を紹介した。